

学校名 深谷市立岡部小学校
所在地 深谷市普濟寺1305番地
電話 048-585-2023

1 本校の概要

本校は埼玉県北部に位置し、旧岡部町の中心地を含む市街地と農村部の混在する場所にある。豊かな自然環境に恵まれ、家庭・地域との連携を図りながら、「正しく豊かに」を学校教育目標として日々教育実践を行っている。

2 本校の実践

(1) 実践の視点

- ・ 学校図書館利用の活発化
- ・ 家庭や地域との連携による読書活動
- ・ 「ふるさと教育」をすすめ、地域の先人や偉人、地域について知る。

(2) 実践の概要

ア あじさい読書旬間(6月)・もみじ読書旬間(11月)の取組

読書旬間中に読んだ本のページ数と題名を、しおり形式のカードに記入する取組を行った。計画的かつ継続的な読書推進活動を行うことで、読書の楽しさを表現させるとともに、読書習慣を身に付けるようにした。



イ 学校・家庭・地域の連携による読み聞かせ

学校応援団の中の読み聞かせボランティアグループ「しゃぼんだま」による月曜日朝の時間の読み聞かせを月



3回程度実施している。第3月曜日はボランティアが休みのため、各学級担任による読み聞かせや朝読書が学級ごとに行われている。コロナウイルス対策のため、書画カメラを活用して行うこともある。毎週月曜日の読み聞かせを児童は楽しみにしている。

ウ 「深谷こどもの本の会」による語り

毎年1回、「深谷こどもの本の会」において、各学級において熟練の語りを聞く「おはなし会」



を実施している。コロナウイルスの感染対策をしながら、今年度は3年ぶりの開催となった。

エ 郷土の偉人「渋沢栄一翁に学ぶ」

未来描いて～土に根を張り伸びゆく力～ 伝記10冊チャレンジ

平成30年度より開始した「伝記10冊チャレンジ」では、伝記を10冊読破した児童には、校長先生より賞状をいただくことができる。



3 成果と今後の課題

(1) 成果

あじさい・もみじ読書旬間では、一人一人が自分の足跡をカードに書き留めていくことで、継続して読みたいという意欲を持ち取り組むことができた。また、「深谷こどもの本の会」によるおはなし会では、語り部が紡ぐ言葉から情景を想像して意欲的に聞く児童の姿が見られた。

(2) 課題

今年度も、読み聞かせが書画カメラを活用するなど、コロナ禍で感染対策を徹底した中での運営となっている。今後も安全に行うことを一番に考えて取り組んでいきたい。

(3) おわりに

今後は、毎月14日の「意志の日」の活用、家族ふれあい読書の回数を増やすなど、家庭での読書の習慣化を図っていきたい。